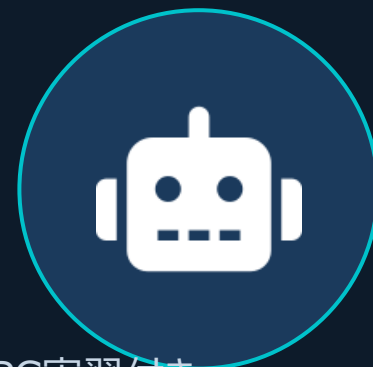


生成AI活用法入門編



2026年度後期 社会人講座 | 全4回 | 木曜 18:30～20:00 | PC教室

ChatGPTやGemini等無料で使える生成AIを日常生活の中で安全で便利に使用する為の基礎知識を学びます。毎回PC実習付き。

第1回 10/1 生成AIってなに？

第2回 10/8 プロンプトの基本

第3回 10/15 AIを安全に使う

第4回 10/22 日常生活での活用実践

生成AIってなに？ ～仕組みと基本を知ろう～



第1回 10/1（木） 18:30～20:00 PC教室

自己紹介

山内 弘一 (やまうち こういち)

職務経歴：

株式会社愛媛電算 入社

株式会社日立製作所 出向

松山大学教務部教務課情報処理室 勤務

松山大学教務部情報教育課 勤務

松山大学情報センター事務部情報センター 勤務

2025年 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 非常勤講師

「情報リテラシー」担当

現職

松山大学図書館事務部図書館事務課勤務（現在に至る）

学歴：

松山商科大学経営学部経営学科 卒業

信州大学大学院工学系研究科情報工学専攻

博士前期課程修了（修士（工学））

信州大学大学院工学系研究科システム開発工学専攻

博士後期課程 単位取得満期退学

資格：

第二種情報処理技術者

第一種情報処理技術者

情報処理システム監査技術者

大学を卒業後、主に自治体の電算処理システムを手掛けるソフトウェア会社に入社し、そこでは、自治体の汎用機システム（住民記録、印鑑証明、住民税etc）の開発や改修に従事した。

また、1991年からは、日立製作所の営業所に出向し、メーカーのパッケージ導入や改修の技術要員として、クライアントの対応に当たった。

1995年に転職し、主に大学の情報化に関する業務に長期間従事してきた。当初は学内の高速大容量LANの構築・整備とunixサーバを中心としたインターネットサービスの構築・メンテナンスを行い、2000年ごろからは当時IBMの汎用機で行っていた様々な事務システムをWebとRDBとEUCの技術を生かした学内総合ポータルシステムの企画業務をそのプロジェクトチームとして中心的な役割を果たした。

また2017年度に学内の学生・教員向けメールサービスをG Suite(現Google Workspace)に変更するため、すでに学内のLDAPに所有するユーザアカウント情報との連携をGADS(Google Active Directory Sync)を使用して行い、その設定・学内ポータルシステムの構築改修作業を外注することなくほとんど1人で実践した経験を持つ。

まず最初に。。

*

1. 出席確認と皆さんの自己紹介：

- ・氏名と自己紹介
- ・受講のきっかけ
- ・この講座で習得したいこと
- ・現状生成AIを使う予定の機器（環境）

2. この講義を受講するための準備

- ・パソコン or スマートフォン
- ・ブラウザでWebページ（ホームページ）を見る → この講座のWebページURL <https://2026ain.pages.dev>
- ・LINEのオープンチャットに参加する →

3. 生成AIを使い始める環境

- ・パソコン と スマートフォン
- ・Gmailアカウント（メールアドレスとパスワード）
- ・アカウント認証のためのスマートフォン
- ・生成AIのアカウント←Gmailアカウントを使用



本日のアジェンダ

- 1 AIと生成AIの違いを理解しよう
- 2 主要AI（ChatGPT・Gemini・Copilot）を紹介
- 3 無料で始める方法（アカウント・画面操作）
- 4 はじめてのプロンプト体験

AIと生成AIの違い



従来のAI（識別系）

画像認識・音声認識など「分類・判定」に特化。あらかじめ学習したパターンで答える。



生成AI（Generative AI）

テキスト・画像・コードなど「新しいコンテンツ」を生み出す。ChatGPT・Geminiが代表例。



大規模言語モデル（LLM）

膨大なテキストを学習した言語AI。文章の続きを確率的に予測して「らしい回答」を生成する。



私たちの日常との接点

スマホの予測変換も一種のAI。生成AIはその超高度版。誰でも今日から使える時代へ。

生成AIとは

- 与えられた情報やデータをもとに新しいデータを生成する*能力を持つ人工知能（AI）の一種。
- 自然言語処理・画像生成・音声合成などさまざまな応用例がある。
- 大規模言語モデル（LLM）では、膨大なテキストデータを使用して、統計的手法による学習を行い、言語に関する多様なタスクに対して、高度な応答を提供できる。

初期の各社のリリース

- 2022年11月 Open AI社のChatGPT3.5 <https://openai.com/>
- 2023年2月 Microsoft社の Bing Chat → 2023年11月～:Copilot <https://copilot.microsoft.com/>
- 2023年3月 Google社の Bard →2024年8月～:Gemini <https://gemini.google.com/app>
- 2023年3月 Anthropic社の Claude ： <https://www.anthropic.com/>

ChatGPTの発展

- GPT-3.5 Turbo（2023年） GPT-4（2023年3月）
- GPT-4o（2024年5月）：テキスト、画像、音声、動画の処理が可能、かつ高速。
- GPT-4o mini（2024年7月） o1-preview（2024年9月） o1-mini（2024年9月） o1（2024年12月） o1 pro mode（2024年12月）
- Deep Research（2025年2月）
- GPT-5(2025年 8 月) 5.3(2026年2月) 5.4(2026年3月)

新しいサービスへの搭載

- 生成AIを組み込んだ各種のサービスが増加

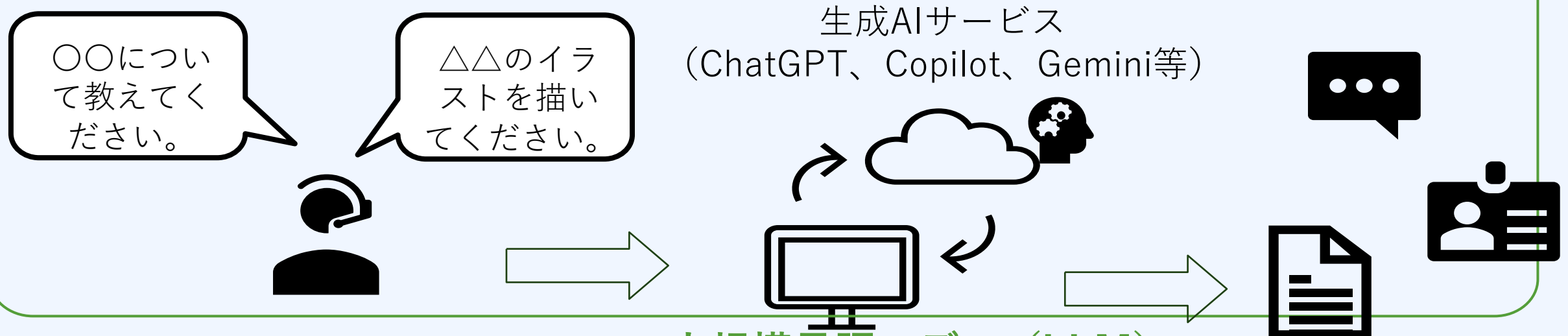
生成AIの仕組み（LLM）

- 利用者が、質問・キーワードなどの何らかのデータを入力し、生成AIサービスが、集積している情報をもって何らかの処理（保管、解析、生成、学習、再提供等）を行い、その結果として、生成物（テキスト・画像・動画など）を得る。
- 大規模言語モデル（LLM：Large Language Model）により、確率の高い次の語を予測して生成する仕組み。

[質問・指示]

[生 成]

[回答・出力]



大規模言語モデル（LLM）により、**確率の高い次の語を予測**して生成。意味を解しているわけではないため、**ハルシネーション**（幻覚：AIがもっともらしい嘘を生成してしまう現象）の可能性がある。

生成AIが答えを作る仕組み



💡 ポイント：生成AIは「知識を検索」しているのではなく「もっともらしい続き」を予測している。だから便利な反面、間違えることもある（第3回で詳しく学びます）

主要生成AI サービス比較

- ChatGPT（OpenAI）：最も知名度が高い。無料版でも高性能
- Gemini（Google）：Googleアカウントで即利用。検索連携が強い
- Microsoft Copilot：Bing統合。Edge/Officeとの連携が便利
- Claude（Anthropic）：長文理解・文書作成に定評あり
- → すべて無料で始められる！まず触れることが大事

今日使うAI

- ✓ ChatGPT（無料版）
- ✓ Googleアカウント不要で試せる Copilot
- ✓ スマホでも利用可能
- ✓ 日本語で普通に話しかけてOK

実習：はじめてのプロンプト体験

ChatGPT（または Copilot）に実際にアクセスして質問してみましょう

STEP 1：PCのブラウザで chatgpt.com を開く

STEP 2：テキスト欄に「松山のおすすめ観光地を3つ教えてください」と入力

STEP 3：回答を確認し、追加で「もっと詳しく」と送ってみる

STEP 4：隣の人と回答を比較・シェアしてみよう

ヒント

同じ質問でも
毎回少し違う
答えが返ってくる。
それが生成AIの
面白いところ！

生成AIってなに？～仕組みと基本を知ろう～

- ✓ 生成AIは「新しいコンテンツを生み出す」AIの総称
- ✓ ChatGPT・Gemini等、無料で今日から使い始められる
- ✓ 同じ質問でも回答が変わる＝確率的生成という仕組み
- ✓ まず触れてみるのが上達への一番の近道

▶ 次回（第2回）：上手な使い方～プロンプトの基本～